

☆プレゼン講座(1学年対象)

本校生徒が課題研究を進めていく上で必要とされるプレゼンテーションに関して、群馬大学の弓仲康史教授を招き、ご講演いただきました。

講演では「プレゼンの必要性」、「良いプレゼン、悪いプレゼンの例」、「良いプレゼンのコツ」等のプレゼンテーションの基礎的事項を提示していただき、2ヶ月後に控えている課題研究発表会に向けて生徒自らのプレゼンテーションに生かせる講座となりました。



☆SSH 課題研究成果発表会

1・2学年でそれぞれ取り組んできた課題研究の最終成果を発表・協議する課題研究発表会が1月27日(木)に実施されました。今年度は新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて、オンラインとクラスでの発表を組み合わせた形式で実施されました。



クラス発表の様子

クラスでは1学年は全生徒を対象とした課題研究の最終成果の発表の場とし

て、2年生は SSH クラスの理数課題研究と、それ以外の生徒は「先輩、教えてください!」で社会課題を発見し、「修学旅行」も活用して研究を進めた社会課題研究の最終成果を発表する場となりました。

オンラインでは特別発表班として、1学年、2学年 SSH クラスの代表2班と、「先輩、教えてください!」でお世話になった企業についての発表を代表班が行いました。また開会行事、運営指導委員の方々の指導助言は全生徒がオンラインで参加しました。

【特別発表班】

	番号	研究(発表)テーマ
1学年 素朴な疑問課題研究	1-2	ASMR の音の種類の違いで感じ方の違いはあるのか
	1-35	お風呂の色は本当に青いのか?
2学年 SSH クラス 理数課題研究	2-10	電波レンズの制作
	2-14	こんにゃくが固まる理由
2学年 「先輩、教えてください!」	4-1	(株) 大利根漬
	4-2	株式会社小林製作所
	4-3	株式会社塚本工務店
	4-4	株式会社 SUBARU
	4-5	株式会社 トリオ
	4-6	有花園



特別発表班のオンライン発表の様子

クラス発表後には投票を行い、クラス代表班が決まりました。代表に選ばれた班の発表は、保護者に向けて公開する予定です。生徒の皆さんも今年度はクラス内での発表になってしまったので、他クラスの発表を見て大いに刺激を受けてください。

また発表会の翌日にはルーブリック評価を教員と生徒相互で行う時間を取り、課題発見から解決までの流れで達成できたこと意識し、課題研究を通して各自が身につけた技能や態度を明確にしました。

【各学年の代表班】

年組	研究テーマ
1年1組	ASMRの音の種類の違いで感じ方の違いはあるのか
1年2組	どうしてアイスは早く溶けるのか
1年3組	雨の匂いを再現するには？
1年4組	植物の発芽の向きと重力と日光の関係
1年5組	段ボールのもっと折れにくい構造はあるのか
1年6組	お風呂の水は本当に青いのか
1年7組	集中力とその内発的要因
2年2組	人気観光地
2年3組	特に交通量の多い場所では、事故防止の配慮がなされているのだろうか
2年4組	効果的な魅力の発信
2年5組	コロナ禍の前後で観光地にはどのような変化が起きたか。また、経済的な損失を補填するためにどのような工夫がなされているのか。
2年6組	各地の暗黙のルールとその由来
2年7組	観光地で外国人への案内が充実しているのか？

【代表班のポスター（1年6組）】

☆データサイエンス講座(2学年 SSH クラス対象)

画像解析のデータサイエンスモデルを学ぶための基礎知識を身につけるべく、群馬大学数理データ科学教育研究センター・群馬大学医学部附属病院 先端医療開発センター中村賢治氏による講演を行いました。講義ではビデオカメラのフィルタリング及び画像のスクレイピング・AI 判別を教材として、画像解析のデータサイエンスモデルについて活用法を学びました。生徒は自身の端末(ChromeBook)から Google Colaboratory を用いて、実際にプログラミングされた教材を活用することで、画像解析のデータサイエンスモデルを体験しながら、その活用の意義と可能性を感じる貴重な体験となりました。高崎高校は群馬大学 ICT データサイエンスコンソーシアムの提携校となりました。今後の課題研究をはじめとするSSH活動での連携が期待されます。

